

日野原重明さんに聴く

○人生は習慣化された行動の積み重ねで作られていくものです。

習慣に早くから配慮した者はおそらく後半の人生の爽りも大きいことでしょう

○あなたにとってのよい出会いそれはあなたの才能の自己発見です。

偶然の中に隠されている貴重な発見をとらえてよい出会いに育てるためには新しい出会いを楽しむ心の余裕が必要です。

○人はいくつからでも生きかたを変えることができます。

鳥は飛び方を変えられませんが、しかし、私たちの人生はさまざまです。

○悲しみも苦しみも、そのさなかはつらいけど後になり振りかえってみるとそれに意味のあったのに気付きます。

たくさんの悲しみや苦しみのおかげでこんなに得るものがあつたとさえ言えるようなときがくるのです。それが年齢を重ねるよさではないでしょうか。

○「ありがとう」のことで人生をしめくくりたいものです。

財産は残したところで争いの種をまくだけです。ありがとうの一言は残される者の心も救う何よりの財産です。

あなたに捧げる「生き生き語録」より

曾野綾子さんに聴く

そもそも小学校の高学年以後の自己をつくるのは、「自分以外にない」と私は思ってきた。

私は円満でない家庭に育ったので、多分ひね曲がった根性は残ったのだが、世間の青少年の犯罪者が、自分は親から虐待を受けたたり、放置されたせいで罪を犯すようになったなどというのを聞くと、腹が立つてくる。

ひずんだ家庭の体験があればこそ私は自分の家庭がとにかく穏やかであることを望んだ。家庭の誰も罪を犯さず、なんとかご飯が食べられてお風呂に入って眠れればけっこう。

その上、ちよっとしたユーモアのある会話が豊富にある生活なら（こうした会話には別にお金がかかるわけではない）それで十分というあたりレベルを置くようになった。

そもそも自分を教育するのに誰よりも強い力を持つのは、自分なのである。自分で自分を教育しないで誰がしてくれるのか。世間にはそれほど親切な人も、暇人もいないと知るべきだろう。危険を予知するのも、それを避けるのも、すべて自分の責任である。

『実践人』七月号より